

仙台市議会だより

sendai city assembly

第166号
平成26年

第3回定例会号

http://www.gikai.city.sendai.jp/
2014年(平成26年)12月発行

発行 仙台市議会
編集 仙台市議会広報委員会
TEL (214) 6169 青葉区国分町3-7-1

年4回発行



仙台子ども体験プラザ - Elem(エリム)

カタール国からの支援により、平成26年8月19日、アエル(青葉区中央1丁目)8階に仙台子ども体験プラザ-Elem(エリム)が開館しました。この施設では、市内小学5、6年生と中学生が「仙台自分づくり教育」の一環として、協賛企業等の店舗や事業所等を模したブースからなる街で、働く体験等しながら社会や経済について学ぶことができます。

写真左：生活設計について学ぶ中学校の生徒
写真上：協賛企業等のブースが並ぶ館内

条例案を含む46件の議案等を可決

市議会ホームページでもご覧いただけます。

仙台市議会

検索

10/8	9/30	9/26	9/25	9/22 ~10/7	9/19 ・29	9/16 ~18	9/11 ・12	9/5
本会議	本会議	本会議	本会議	決算等審査特別委員会	常任委員会	本会議	本会議	本会議
・討論・議案の採決 ・請願、意見書の採決ほか	・先議議案の採決ほか ・決算等審査特別委員会委員長報告	・意見書の採決ほか	・先議議案の採決ほか	・決算等議案の審査	・決算等議案以外の審査	・一般質問21人	・代表質疑6人	・人事案件 ・意見書の採決 ・各常任委員・議会運営委員の選任 ・議案の提案理由説明

定例会会期日程

一般質問では、大雨に伴う自然災害への対応や教育行政を取り巻く諸課題など、21人の議員が市民に身近な問題について真剣な議論を交わしました。

また、被災地の復興や市民生活に大きな影響を与えるガソリ

代表質疑では、被災者の住宅再建の進捗状況や、平成25年度決算を踏まえた本市の財政見通し、平成27年の開業が予定される地下鉄東西線への取り組みなどについて、活発な質疑が行われました。

第3回定例会では、市民センターの整備等に関する補正予算案や条例案等についての審査のほか、11日間にわたり、東日本大震災からの復興実感に向けて取り組んだ平成25年度決算を審査しました。

市民のみなさまへ

本市議会は、市民に身近な議会として、皆さまの声を傾けながら、広い視野をもって信頼される議会活動を展開してまいります。

市民のみなさまへ
定例会会期日程
会派別所属議員
主な議案の紹介
市議会からのお知らせ



仙台市議会
議長 西澤啓文
副議長 日下富士夫

会派別所属議員

平成26年10月8日現在

自由民主党・仙台	自由民主党復興仙台	日本共産党仙台市議団	市民フォーラム仙台	公明党仙台市議団	社民党仙台市議団
齋藤 和彦 加藤 健 菅原 崇良 菊地 雄一 鈴木 繁雄 伊藤 新治郎 赤間 次彦 佐藤 正昭 西澤 啓文 野田 啓文 田野 啓文 田村 啓文 やしろ 美香	岡部 恒司 庄司 充一 橋本 啓一 跡部 薫 佐々木 両道 渡辺 博 柿沼 敏博 高橋 次男 鈴木 勇治	嵯峨 則彰 花木 和子 ふるくぼ 和子 ふなやま 由美 高見 のり子 すげの 直子 庄司 あかり	鈴木 雅浩 嶋中 貴志 嶋田 裕行 鈴木 利城 鎌田 裕	小野寺 久美子 小野寺 久美子 佐藤 和子 佐々木 真由美	石川 正俊 大槻 正俊 石川 建治 相沢 和紀 相山 勇朗 小山 のりこ ひぐち のりこ

市民のみなさまへ	1面
定例会会期日程	1面
会派別所属議員	2面
主な議案の紹介	2面
市議会からのお知らせ	2面
代表質疑	2・3面
一般質問	4・5面
常任委員会審議の概要	4・5面
用語解説	5面
決算等審査特別委員会	6・7面
新委員の紹介	8面
会派別議案等賛否一覧表	8面
意見書・請願	8面
次回定例会のお知らせ	8面
編集後記	8面

目次

主な議案の紹介

平成26年度補正予算

- 一般会計(主な補正項目)
 - 東日本大震災復興交付金について弾力的な予算執行を可能とするため、東日本大震災復興交付金基金(22億2,570万8千円)の造成積立をするもの
 - 特別児童扶養手当の受給資格の認定事務権限移譲に向け、システム構築に必要な経費5,889万8千円を追加するもの
 - 東六郷地区への津波避難施設整備費9,833万4千円を追加するもの
 - (仮称)杜のひろば・八木山の施設整備に係る設計の変更等に併い、必要な経費177万5千9千円を追加するもの
- 特別会計

・母子及び寡婦福祉法の改正に伴い、父子福祉資金の貸付を行うため597万円を計上するもの

条例

- 幼稚園型、保育所型及び地方裁量型の認定こども園の認定の要件を定める条例
- 放課後児童健全育成事業及び家庭的保育事業等の設備及び運営に関する基準を定める条例
- 個人情報保護条例の一部を改正する条例

を識別するための番号の利用等に関する法律」の制定を考慮し、仙台市個人情報保護審議会を特定個人情報保護評価に係る評価書に關する事項を調査審議するもの

条例

- 市税条例の一部を改正する条例
- 地方税法」の改正を考慮し軽自動車等の税率を改定することと併し、同法の改正に伴い公害防止用の施設等に対する固定資産税の課税標準の特例に係る割合を定める等のもの
- 薬事法の施行に関する条例の一部を改正する条例
- 「薬事法施行令」の改正を考慮し医薬品製造管理者の兼務に係る許可証の交付に必要事項を定めるとともに、「薬事法」の改正に伴い条例の題名を「仙台市医薬品、医療機器等の品質、有効性及び安全性の確保等に関する法律」の施行に関する条例」に改める等のもの

○市営住宅条例の一部を改正する条例

復興のための市営住宅として荒井東第二市営住宅を設置するもの

○学校条例の一部を改正する条例

東日本大震災の被災者等の平成27年度に係る入学選抜手数料、入学おおよび授業料について減免することができることとする等のもの

○乗合自動車運賃条例及び高速鉄道運賃条例の一部を改正する条例

ICカード乗車券を発行することができることとする等のもの

人事

- 教育委員会の委員の任命
- 斎藤 道子
- 人事委員会の委員の選任
- 松坂 英明

自由民主党 仙台

赤間 次彦 議員

問 決算に対する市長の認識と今後の財政運営

答 残り1年半となった復興計画期間内で復興を着実に成し遂げ、さまざまな行政課題に対応するには財政基盤がしっかりしていることが大前提だ。平成25年度の決算を踏まえ、今後の財政運営について市長の所見を伺う。

問 マイナンバー制度の導入により自治体で管理する情報範囲は大きく広がり、より一層のプライバシー保護対策が必要だ。法で義務づけられた特定個人情報保護評価をどのように実施するのか伺う。

答 個人情報取扱事務等は、評価書を作成後、国へ提出し、公表を行う必要がある。特にプライバシーの権利利益に対する影響が大きい事務等は、評価書を作成後、パブリックコメントを実施し、第

三者点検を受けることになるが、本市では、個人情報保護審議会で第三者点検を実施する予定である。

その他の主な質疑項目

- 県との定期的な懇談を再開すべき
- 新市立病院の精神科医師の確保
- 待機児童解消に向けた対応を
- 東部地域の住宅再建の進捗状況
- 公共事業発注者としての責務
- 県と連携したサミットの誘致
- 効果的な起業支援の取り組み

問 過大規模校の解消に向けた小・中学校の一定規模確保

答 本市の年齢別人口から推察すると、今後千人を超える小・中学校が複数校生じる。過大規模校の解消に向け、大規模校の適正規模について早急に議論すべき。

問 良好な教育環境の確保を図るためには、保護者や地域の方々と早期に課題を共有し、合意形成を図ることが必要と考える。一定

市民フォーラム 仙台

加藤 けんいち 議員

問 行政が期待する共助と実際に取り組む地域に隔たりを感じる地域の声に耳を傾け共助の後押しをすべき。また、要援護者登録情報リストの定期的な更新を求める。

答 災害時要援護者支援は地域が主体的に取り組むを進めることが重要と認識している。地域の方々の抱える課題が解決され、共助の取り組みが円滑に進むよう、分かりやすい手引きや民間の防災アドバイザーの活用など、一層の支援

問 規模確保に向けた方針の見直しと合わせ、過大規模校の解消に向けた考え方等の整理を現在検討している。今後、将来的な学校規模の推移を個別、的確に見通し、着実に取り組みを進めていきたい。

答 エネルギー政策は電力の安定供給と電力の特性を踏まえた展開を、地元中小企業のニーズを反映した中小企業支援条例の制定

- 保育所待機児童解消と保育施設量二万人の確保
- 仙台市実施計画の確実な取り組み

代表質疑

自由民主党 復興仙台

鈴木 勇治 議員

問 本市には土砂災害危険箇所が994カ所あるが、県が対策工事をしたのは15カ所のみだ。土砂災害警戒区域等の指定も進んでいない。土砂災害対策工事の促進と土砂災害警戒区域等の指定を県に積極的に働きかけをすべき。

答 土砂災害警戒区域等の指定の加速化と抜本的な土砂災害対策

問 国が進めるガス小売全面自由化等のガスシステム改革により、将来のガス局の経営がさらに厳しくなる。危機感を持っている。改革による影響とガス事業の民営化に向けた取り組み方針を伺う。

答 改革に伴う競争激化によりガス販売量が減少し、ガス局の企業価値を著しく低下させる恐れがある。事業の持続的な発展には民営化が必要との認識は変わっていないが、改革により、これまで想定していた事業譲渡は難しくなる

問 国が進めるガス小売全面自由化等のガスシステム改革により、将来のガス局の経営がさらに厳しくなる。危機感を持っている。改革による影響とガス事業の民営化に向けた取り組み方針を伺う。

答 改革に伴う競争激化によりガス販売量が減少し、ガス局の企業価値を著しく低下させる恐れがある。事業の持続的な発展には民営化が必要との認識は変わっていないが、改革により、これまで想定していた事業譲渡は難しくなる

問 住民と行政の間で、警戒避難の具体的な行動について共通認識を醸成することが重要だ。土砂災害危険箇所に住んでいる住民に対し、説明会を開催すべき。

答 全国的な大雨による土砂災害を踏まえ、市政だよりへの特集記事の掲載やハザードマップの配布等により周知を進めてきた。今

日本共産党

嵯峨 サダ子 議員

問 住民と行政の間で、警戒避難の具体的な行動について共通認識を醸成することが重要だ。土砂災害危険箇所に住んでいる住民に対し、説明会を開催すべき。

答 全国的な大雨による土砂災害を踏まえ、市政だよりへの特集記事の掲載やハザードマップの配布等により周知を進めてきた。今

問 財政調整基金の増加は、国庫補助金の翌年度以降の返還額等の積み立てが主たる原因であり、一時的・短期的なものと考えられる。被災者の生活再建につながる防災集団移転等の主要事業はおおむね着実に進展しているとの認識しているが、国の集中復興期間後の財政支援の方向性は現段階で明示されていない。震災復興基金は、復興計画期間後も継続して取り組む被災者の生活再建施策等に活用したい。

答 財政調整基金の増加は、国庫補助金の翌年度以降の返還額等の積み立てが主たる原因であり、一時的・短期的なものと考えられる。被災者の生活再建につながる防災集団移転等の主要事業はおおむね着実に進展しているとの認識しているが、国の集中復興期間後の財政支援の方向性は現段階で明示されていない。震災復興基金は、復興計画期間後も継続して取り組む被災者の生活再建施策等に活用したい。

公明党

鎌田 城行 議員

問 局地的豪雨が年々増え、国は1時間当たりの雨量が75ミリの降雨への対応の必要性を示した。被害常襲地域を優先した地下調整池やポンプアップ等の整備の強化を求めるかがかか。

答 地域の状況に応じた雨水調整池や既存施設を補完する管路などの効果的かつ効率的な整備に引

問 本市で来春開かれる国連防災世界会議について市民への浸透を深めるためにも、街中をペナントやポスターで防災会議一色に染めるくらいの盛り上がりを出してはどうか。また、手話通訳など障がい者支援策を伺う。

答 商店街におけるフラッグなどの装飾による歓迎ムードの創出や周知活動を行うとともに、今後は市民の皆さまが会議に興味を持ち、実際に会場に足を運んでいただけるような取り組みを行い、開催に向けたさらなる盛り上がりにつ

問 本市で来春開かれる国連防災世界会議について市民への浸透を深めるためにも、街中をペナントやポスターで防災会議一色に染めるくらいの盛り上がりを出してはどうか。また、手話通訳など障がい者支援策を伺う。

答 商店街におけるフラッグなどの装飾による歓迎ムードの創出や周知活動を行うとともに、今後は市民の皆さまが会議に興味を持ち、実際に会場に足を運んでいただけるような取り組みを行い、開催に向けたさらなる盛り上がりにつ

問 放射能汚染対策に係る本市の費用負担について

答 国の指針に基づき平成23年度分の賠償請求は行っており、翌年度以降も順次請求する。これ

社民党

大槻 正俊 議員

問 本市における平成25年度までの福島第一原発事故への対応経費約4億6千万円のうち、約3億9千万円を本市が未だに負担している。東京電力への賠償請求と国への財政措置要望をすべき。

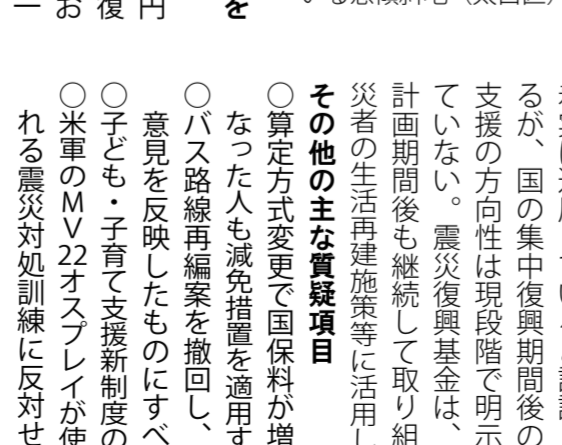
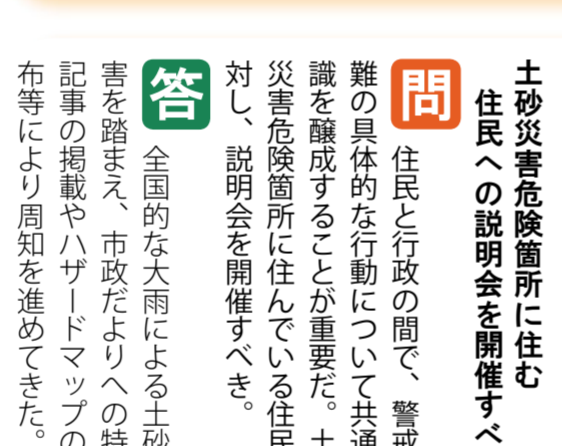
答 国の指針に基づき平成23年度分の賠償請求は行っており、翌年度以降も順次請求する。これ

問 子ども・子育て支援新制度と子育て施策の拡充

答 新制度においても引き続き保育を必要とする子ども達が必要に応じて保育サービスを利用できるように、各種保育基盤の整備を進めるとともに、関係機関等の連携を強化しながら保育施策の充実を図りたい。多胎児を持つ家庭への支援については、妊婦検診の助成回数上乗せや育児サークル支援等の取り組みを継続していく。

その他の主な質疑項目

- 市民目線でのバス路線再編を
- 地下鉄東西線の開業日の明示を
- 放課後児童健全育成事業の拡充策
- 市立病院精神科病棟の稼働を
- 適応指導教室(仮称)杜のひろば・八木山」の開設と不登校対策
- 八木山動物公園駅駐車の周知



一般質問

自由民主党・仙台

菊地 崇良 議員

○国家戦略特区への「ソーシヤル・イノベーション」創生特区」の提案は、人口の流出を防ぎ、地方に活力を取り戻すため大変有用である。今後、科学・文化・エネルギー分野でも次の矢を放て。○本市は東北唯一の政令市として、227市町村との共存・共栄のための意見集約と政策策定を牽引し、国との交渉窓口の役割を果たせ。○農業園芸センターの再整備

やしろ 美香 議員

○国連防災世界会議の広報物にQRコードを示し、フェイスブック等に誘導するなど、市民に向けた情報発信にソーシャルメディアを活用すべき。○国連防災世界会議のチラシ等にご提案のQRコードを印刷するなど、今後もソーシャルメディアとの効果的な連携を図り情報発信の努力を○継続的な被災者の心のケアを○病床再編に対応する市立病院の医療提供体制の充実



医療提供体制の充実が求められる市立病院

加藤 和彦 議員

○認知症予防の取り組み・市立病院精神科の医療提供体制の確保について・認知症高齢者専用の介護施設を多数開所すべき。在宅の認知症高齢者の介護支援体制の充実を

野田 謙 議員

○ラゲビワールドカップの誘致は国際都市・仙台への飛躍のチャンスとなる。前向きに誘致に手を挙げよう。○開催に係る諸課題もあり、現地調査等による検討を重ねて、最終的な判断をしたい。○音楽ホール建設を判断すべき○被災地地復旧工事の年度内完了に向けた推進体制に市民に広啓すべき

佐藤 正昭 議員

○国家戦略特区の採択に向け、議員の力を活用し、共に力を出し合う「議会協働」が必要だが、市長の所見を伺う。○大変心強い提案であり、議会の力添えをいただきながら、本市の総力を挙げたい。○実効性の高い特区の実現



観光姉妹都市・徳島市を訪れた訪問団による仙台すずめ踊り

佐藤 わか子 議員

○国際会議誘致に向け語学ボランティア組織の充実を○一般の方々の参加を促し、既存組織の拡充を図る。○若年層の中でも特に自殺未遂を繰り返す方への対策強化○山間部の学校の児童数減少問題に早急に対応すべき

市民フォーラム仙台 渡辺 敬信 議員

○市民へのさらなる周知と十分な意見の反映を求める。○再編に向けた詳細な検討を行うとともに、より効果的な周知・広報に努めたい。○仙台七夕花火祭の継続開催に向けた主催者団体の資金策について市長の所見を伺う。○組織横断的な対応や庁内での協賛金の募集等を行うことが、さらに主催者とともに

自由民主党復興仙台 庄司 俊充 議員

○中小企業教育の今後の方向性○「中小企業の活性化に関する条例」には、小規模企業への支援を盛り込むべき。○小規模企業の活性化は不可欠であり、実効性の高い施策を検討していく。○農業用水路および林道の一

自由民主党復興仙台 小野寺 利裕 議員

○保健指導対象者の実情に合う支援計画と効果的な取り組み○人工透析を減らす慢性腎臓病予防連携の体制づくり○生活習慣病予防に向けた運動の動機づけの取り組み○ウォーキングを活用した健康施策の推進と散策ウォーキングラリーの実施

自由民主党復興仙台 小野寺 淳一 議員

○保健指導対象者の実情に合う支援計画と効果的な取り組み○人工透析を減らす慢性腎臓病予防連携の体制づくり○生活習慣病予防に向けた運動の動機づけの取り組み○ウォーキングを活用した健康施策の推進と散策ウォーキングラリーの実施

自由民主党復興仙台 大泉 鉄之助 議員

○生活保護受給者を減らすためにも、働ける困窮者への速やかな就労支援に取り組むべき。○早期の就労支援に取り組んで経済的自立を促進していく。○本市の地方創生のあり方○コンビニ等へのAED設置を○仮設住宅の防犯と照明設置

自由民主党復興仙台 相沢 和紀 議員

○海外からの来訪者にも誇れるよう一層の環境美化意識の向上を目指し取り組みたい。○総合的な環境教育施設の整備○復興計画の中間総括と宅地被害対策等の促進を求める○教育委員会および農業委員会制度の見直し等への対応○復興公営住宅等のコミュニティづくりへの早急な対応

自由民主党復興仙台 及川 英樹 議員

○国民健康保険料の軽減措置○市民健診と特定健診の効果的な集約や高度な健診等早期発見、治療のための取り組み

自由民主党復興仙台 小野寺 利裕 議員

○市民健診と特定健診の効果的な集約や高度な健診等早期発見、治療のための取り組み

自由民主党復興仙台 小野寺 利裕 議員

○市民健診と特定健診の効果的な集約や高度な健診等早期発見、治療のための取り組み

自由民主党復興仙台 小野寺 利裕 議員

○市民健診と特定健診の効果的な集約や高度な健診等早期発見、治療のための取り組み

自由民主党復興仙台 小野寺 利裕 議員

○市民健診と特定健診の効果的な集約や高度な健診等早期発見、治療のための取り組み

自由民主党復興仙台 小野寺 利裕 議員

○市民健診と特定健診の効果的な集約や高度な健診等早期発見、治療のための取り組み

一般質問

審議の概要

常任委員会 審議の概要

委員会に付託された議案番号を、各常任委員会名の下にまとめて記載しています。また、各議案名については、8面の会派別議案等賛否一覧表をご覧ください。

総務財政委員会

委員長 菅原 健

付託された議案番号 (第113・118・119・128・133号)

副委員長 加藤 けんいち

市民教育委員会

委員長 相沢 和紀

付託された議案番号 (第113・126・130・131・135・136・139・140号)

健康福祉委員会

委員長 小野寺 健

付託された議案番号 (第113・117・120・122・137・141号・議第6・7号)

経済環境委員会

委員長 小野寺 利裕

付託された議案番号 (第132・138号)

都市整備建設委員会

委員長 跡部 薫

付託された議案番号 (第113・123・125・127・134・141号)

健康福祉委員会

委員長 小野寺 健

付託された議案番号 (第113・117・120・122・137・141号・議第6・7号)

市民教育委員会

委員長 相沢 和紀

付託された議案番号 (第113・126・130・131・135・136・139・140号)

健康福祉委員会

委員長 小野寺 健

付託された議案番号 (第113・117・120・122・137・141号・議第6・7号)

経済環境委員会

委員長 小野寺 利裕

付託された議案番号 (第132・138号)

都市整備建設委員会

委員長 跡部 薫

付託された議案番号 (第113・123・125・127・134・141号)

決算等審査 特別委員会

委員長 庄司 俊充
副委員長 小野寺 利裕

本委員会は、議会選出の監査委員を除く全議員54名で構成され、委員は所属会派の議員数に応じた持ち時間内で、各会計、費目ごとに一問一答形式で質疑を行います。
委員会は、9月22日から11日間開催され、延べ79名の委員が36時間41分にわたり質疑を行いました。
主な質疑と答弁の要旨等を会派ごとに掲載します。

自由民主党・仙台

菊地 崇良 委員

○国連防災世界会議に向け感染症対策や治安の維持など関係機関との連携強化を含む危機管理体制の構築を
○今後のサミット誘致等を見据え、日本ならではの礼法・礼式を活かし、国際儀礼とおもてなしの質を高めよう
○全国に報道された市内中学校での不適切な歴史授業には、徹底した指導と調査を
○学校教育は、学習指導要領を原則とし、中立・公正性を担保すべき。恣意的な授業があつてはならない。
やしろ 美香 委員



身近な市民の足としての役割が求められる本市のバス

○震災後の人口集中により、今後、DVや性犯罪の増加が懸念される。女性に対する暴力の根絶と被害者支援について、市長の所見を伺う
○被害を受けた方が相談することが当たり前であるという認識を社会全体で共有することが必要である。今後、男女共同参画の取り組み全般を推進するとともに、専門的な支援の充実にも努めたい。
○性暴力被害者に対する24時間相談体制の整備を
○民間シエラターの活動支援
菅原 健 委員
○心身障害者医療費助成

○指定廃棄物の最終処分場は原子力に係る最終処分場としては我が国初であり、詳細な情報提供もなく、風評被害などその影響は計り知れない。指定廃棄物および8千ベクレル以下の廃棄物は、国と東京電力の責任により集約・処理すべき。
○乗客数が少なく採算の確保が厳しいバス路線は、デマ

○指定廃棄物の最終処分場は原子力に係る最終処分場としては我が国初であり、詳細な情報提供もなく、風評被害などその影響は計り知れない。指定廃棄物および8千ベクレル以下の廃棄物は、国と東京電力の責任により集約・処理すべき。
○乗客数が少なく採算の確保が厳しいバス路線は、デマ

公明党

○高すぎる国民健康保険料の引き下げと減免制度の拡大
○子ども・子育て支援新制度に対応する児童クラブ整備計画
○登録児童が増加している袋原コミュニティ児童館の増築を
○ユネスコ無形文化遺産「秋の田植踊」への助成増額を
高見 のり子 委員
○蒲生のまちづくりは、干潟の保護と歴史や文化、震災における津波体験を継承せよ
○当該地区は災害危険区域であり、自然環境に配慮した河川堤防建設を重要と考える。
○市営住宅の整備を進め住宅を必要とする市民に供給せよ
すげの 直子 委員
○市立小中学校の普通教室や音楽室、図書室、職員室等

○地下鉄駅の出入口には誰もが目で分かるような共通のマークを掲示すべき。
○東西線は駅の新設時に、南北線は設備改修時に対応する。
○水道事業
○市内小学校への災害時給水栓設置の進捗状況を伺う。
○対象校110校のうち13校で整備済みである。
○総務費

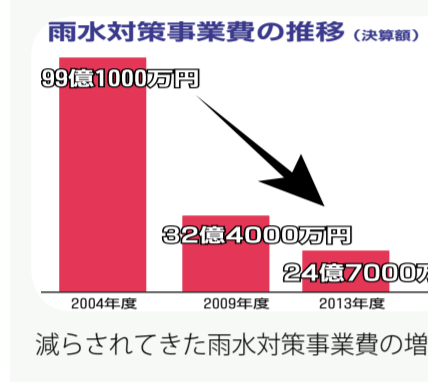
○児童虐待対策の強化
○ひとり親家庭の就労支援
○ペット納骨堂の駐車場増設と分かりやすい案内板の設置
○環境費
○東北新幹線鉄道騒音等対策会議にて騒音・振動対策を事業者に要望すべき。
○別途機会を確保し、具體の要望を伝える。
○土木費

日本共産党

○高すぎる国民健康保険料の引き下げと減免制度の拡大
○子ども・子育て支援新制度に対応する児童クラブ整備計画
○登録児童が増加している袋原コミュニティ児童館の増築を
○ユネスコ無形文化遺産「秋の田植踊」への助成増額を
高見 のり子 委員
○蒲生のまちづくりは、干潟の保護と歴史や文化、震災における津波体験を継承せよ
○当該地区は災害危険区域であり、自然環境に配慮した河川堤防建設を重要と考える。
○市営住宅の整備を進め住宅を必要とする市民に供給せよ
すげの 直子 委員
○市立小中学校の普通教室や音楽室、図書室、職員室等

○地下鉄駅の出入口には誰もが目で分かるような共通のマークを掲示すべき。
○東西線は駅の新設時に、南北線は設備改修時に対応する。
○水道事業
○市内小学校への災害時給水栓設置の進捗状況を伺う。
○対象校110校のうち13校で整備済みである。
○総務費

○児童虐待対策の強化
○ひとり親家庭の就労支援
○ペット納骨堂の駐車場増設と分かりやすい案内板の設置
○環境費
○東北新幹線鉄道騒音等対策会議にて騒音・振動対策を事業者に要望すべき。
○別途機会を確保し、具體の要望を伝える。
○土木費



減らされてきた雨水対策事業費の増額を

○土砂災害や宅地被害の情報については、被害の大小に関わらず、全て全庁的な情報共有を図るべき
○浸水被害箇所を的確に把握するとともに、地域からの要望を踏まえ、早急に浸水対策を進めるべき
○災害対策には、現場と本部の指揮命令権を明確にすることが重要だ。情報を一元化する仕組みづくりを。
○集中豪雨時の避難情報の伝達
○災害対応の周知・啓発など日常的なソフト対策の推進を
斎藤 範夫 委員

○今後の人口減少を見据え、本市の活力を維持し、さらに高めるためには、将来のビジョンを描き、戦略的に取り組むことが必要であるが、市長の所見を伺う。
○本市が選ばれる都市となるため、子育て・教育・医療環境の整備など総合的な住みよさを向上させ、またその基盤である税財源と雇用の場を確保することが重要と考える。
○子育て世代の定住政策を
○青葉区保護課の不祥事に対し、厳正な処分を行うべき
○官民連携による道路維持管理

○新市立病院では救命救急医療の体制充実を図り、より多くの重症患者の受け入れを
○救急医療体制の市民への啓発
○移転による医療機関配置パランスと救急搬送時間の影響
○精神科医師確保の取り組み
○新市立病院では患者の声を聞いた対応とサービス向上を
渡辺 博 委員

○戦略・戦術を開発した統一性のある広報展開を
○職員の公務員倫理・服務に対する意識向上への取り組み
○食品衛生の技術向上を図るため職員研修の充実を
○仙台HACCPの普及促進
○市民から要望の多い交番設置の課題に対しては県との連携強化を図り早急な対応を
跡部 薫 委員
○スポーツ大会やイベント

○指定管理者制度の現状と課題
○HIV、エイズ対策の推進
○性暴力救護センターの整備
○街路灯の不具合等について市民が通報しやすい工夫を
○教育委員会の障がい者雇用率
○学校図書室への新聞配備
相沢 和紀 委員

○豪雨対策に効果的な雨水浸透枳等の助成エリア拡大を
○当面は対象地区内の普及に努め、結果により検討する。
○生垣づくり助成制度の拡充
○国直轄事業負担の問題点
○ガス事業の赤字への対応
石川 建治 委員

○市営バス事業決算の評価
○市営バス・地下鉄事業の会計制度の見直し
○自転車利用のルール、マナー向上等の取り組み強化
○利用が増えているダテバイク事業のさらなる拡充策
柳橋 邦彦 委員

○広島、御嶽山の被災者に哀悼の意を表する。自然災害の一因である地球温暖化の対策を。情報収集に努めてきた。
○福祉や教育など自治体本来の仕事に予算を使うべき
○路線バス、コミュニティバスを公共交通体系に活かす

○国民健康保険料の軽減措置
○ジェネリック医薬品の利用促進に向けた差額通知の工夫
○高額療養費申請を簡単にする限度額適用認定証を周知
○国保事業の効率化と歳入増
○高度な健診により早期発見
○震災に伴う児童生徒への心のケア支援事業の取り組み
○インターネット監視事業

市民フォーラム仙台

安孫子 雅浩 委員

○地域に対する区役所のコーディネート機能を強化してきたが成果について伺う
○地域連携担当職員の配置等により地域政策の拠点としての機能強化が図られた
○小中学校の一定規模確保に向けた実施方針に跡施設の活用も盛り込むべき。
○利活用検討の優先順位、管理運営に要する費用負担等の基本的な考え方を整理する。
○認知症に対応した施設整備
木村 勝好 委員

○バス路線の再編案は、全て市長の全面的な責任において策定していくのか伺う
○市民の方々の意見を踏ま

○新市立病院では救命救急医療の体制充実を図り、より多くの重症患者の受け入れを
○救急医療体制の市民への啓発
○移転による医療機関配置パランスと救急搬送時間の影響
○精神科医師確保の取り組み
○新市立病院では患者の声を聞いた対応とサービス向上を
渡辺 博 委員

○戦略・戦術を開発した統一性のある広報展開を
○職員の公務員倫理・服務に対する意識向上への取り組み
○食品衛生の技術向上を図るため職員研修の充実を
○仙台HACCPの普及促進
○市民から要望の多い交番設置の課題に対しては県との連携強化を図り早急な対応を
跡部 薫 委員
○スポーツ大会やイベント

○指定管理者制度の現状と課題
○HIV、エイズ対策の推進
○性暴力救護センターの整備
○街路灯の不具合等について市民が通報しやすい工夫を
○教育委員会の障がい者雇用率
○学校図書室への新聞配備
相沢 和紀 委員

○豪雨対策に効果的な雨水浸透枳等の助成エリア拡大を
○当面は対象地区内の普及に努め、結果により検討する。
○生垣づくり助成制度の拡充
○国直轄事業負担の問題点
○ガス事業の赤字への対応
石川 建治 委員

○市営バス事業決算の評価
○市営バス・地下鉄事業の会計制度の見直し
○自転車利用のルール、マナー向上等の取り組み強化
○利用が増えているダテバイク事業のさらなる拡充策
柳橋 邦彦 委員

○広島、御嶽山の被災者に哀悼の意を表する。自然災害の一因である地球温暖化の対策を。情報収集に努めてきた。
○福祉や教育など自治体本来の仕事に予算を使うべき
○路線バス、コミュニティバスを公共交通体系に活かす

○国民健康保険料の軽減措置
○ジェネリック医薬品の利用促進に向けた差額通知の工夫
○高額療養費申請を簡単にする限度額適用認定証を周知
○国保事業の効率化と歳入増
○高度な健診により早期発見
○震災に伴う児童生徒への心のケア支援事業の取り組み
○インターネット監視事業

自由民主党

大泉 鉄之助 委員

○震災以降の予算は未曾有の規模だが、余力のない厳しい財政状況と認識し、先を見据えた都市経営に注力すべき
○効率的な行政運営を図ることも復元の底力を発揮し未来の都市づくりを進進する。
○公共施設の使用料等の適正化
○新聞の誤報道に対する所見

○仙台を景観が誇れるまちに
○大年寺山公園に歴史的価値を伝える案内板等の設置を
○八木山動物公園の魅力向上
○東西線の駐車場、駐輪場整備
○特別支援教職員の継続と充実
○東北の母都市・仙台の役割
○危険ドラッグに対する取り組みの強化を図るべき
○本市の将来を担う若者達に託する市長の思いと今後の施策
小野寺 淳一 委員

○西原雨水ポンプ場の完成までの間の浸水対策を伺う。
○ポンプの電動化や気象情報を活用し被害軽減を図る
○震災後、南浦浄化センターの放流水質が悪化している。市民に周知し協力を求めよ

○杜の都防災力向上マンスション認定制度の啓発促進を図り、この施策を地域コミュニティ活動の助長に
○市民センターがない中学校区は4力所のみだ。設置に向け基準の見直しを求める。
○地域特性等を踏まえ、関係部局とともに整備・配置方針の検討に取り組みたい。
○坪沼大八山ふろんど構想の進捗と具現化への課題
○農業用施設の早急な改良を
○農を基軸とした街づくり計画
佐々木 兩道 委員

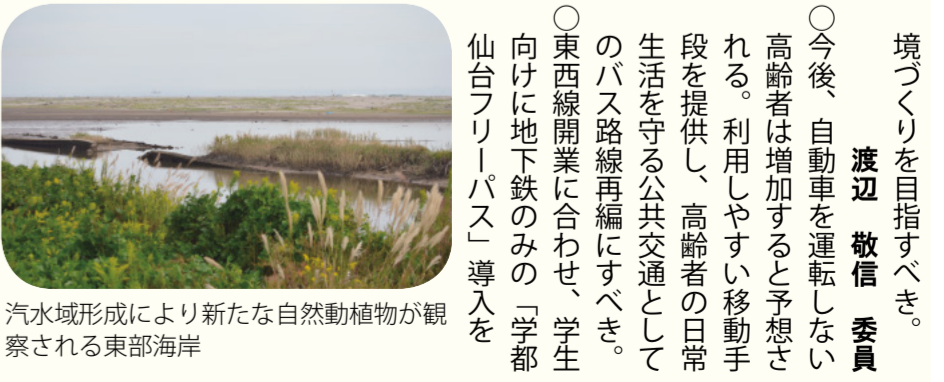
○仮設住宅入居者のうち他都市で被災した方への対応
○地域防災の取り組みの強化
○副都庁を活用した防災教育
○予算繰り越しを減らすため全庁挙げて早期執行を

○復興実感の年とした25年度を振り返った所見を伺う。
○復旧公営住宅への入居の本格化など被災者の再建が新たな段階へ進んだ。今後も早期の生活再建に向け取り組む。
○市民の足として永續的に機能するバス路線再編の対応

○復興実感の年とした25年度を振り返った所見を伺う。
○復旧公営住宅への入居の本格化など被災者の再建が新たな段階へ進んだ。今後も早期の生活再建に向け取り組む。
○市民の足として永續的に機能するバス路線再編の対応

○復興実感の年とした25年度を振り返った所見を伺う。
○復旧公営住宅への入居の本格化など被災者の再建が新たな段階へ進んだ。今後も早期の生活再建に向け取り組む。
○市民の足として永續的に機能するバス路線再編の対応

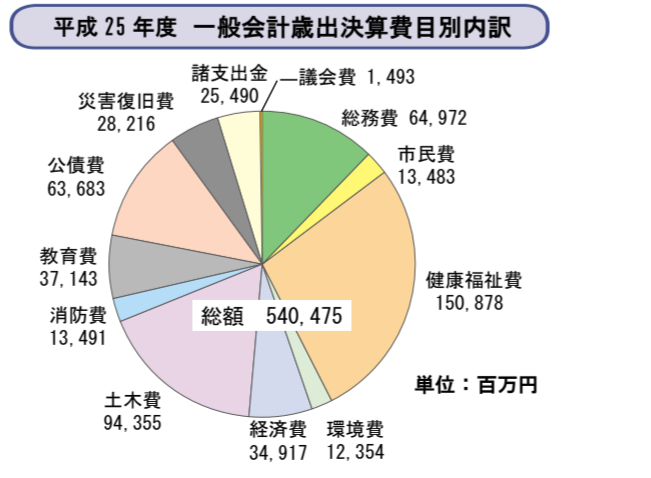
○復興実感の年とした25年度を振り返った所見を伺う。
○復旧公営住宅への入居の本格化など被災者の再建が新たな段階へ進んだ。今後も早期の生活再建に向け取り組む。
○市民の足として永續的に機能するバス路線再編の対応



汽水域形成により新たな自然動植物が観察される東部海岸

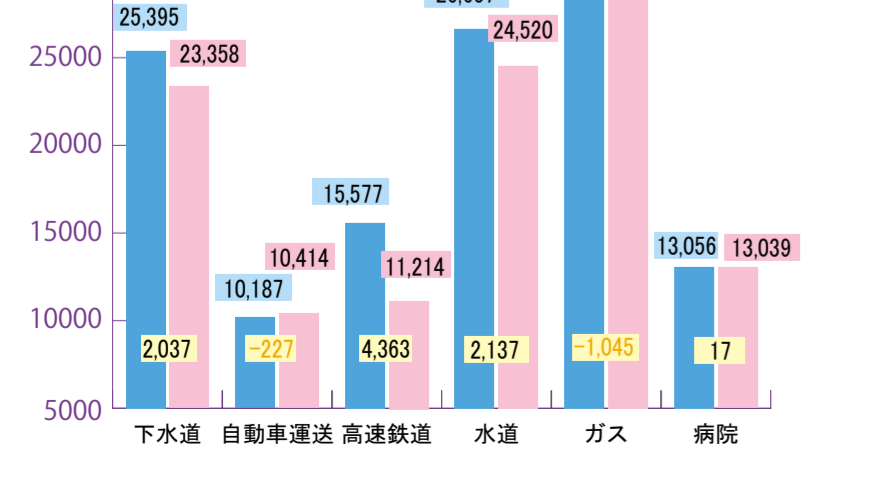
平成25年度 一般会計決算収支の状況

予算現額	638,670
歳入決算額	A 577,310
歳出決算額	B 540,475
歳入歳出差引額	C=A-B 36,835
翌年度へ繰り越すべき財源	D 30,909
実質収支額	E=C-D 5,926



平成25年度 特別会計決算の収支状況

会計名	歳入	歳出	差引額
都市改造事業	6,493	5,587	906
国民健康保険事業	104,942	101,789	3,153
中央卸売市場事業	4,852	4,850	2
公共用地先行取得事業	1,165	1,164	1
駐車場事業	335	335	0
公債管理事業	124,485	124,485	0
母子寡婦福祉資金貸付事業	263	77	186
新築基金事業	1,111	1,091	20
介護保険事業	60,763	59,536	1,227
後期高齢者医療事業	9,709	9,458	251
合計	314,118	308,372	5,746



会派別議案等賛否一覧表

議案等 []内は議案番号	会派名 ()内は所属議員数										採決結果
	自由民主党・仙台	市民フォーラム仙台	自由民主党復興仙台	公明党仙台市議団	日本共産党仙台市議団	社民党仙台市議団	みんなの党・みんなの仙台	自由民主党	自由民主党	自由民主党	
平成25年度決算案	○	○	○	○	×	○	○	○	○	○	認定
補正予算案	○	○	○	○	×	○	○	○	○	○	可決
条例制定案	○	○	○	○	×	○	○	○	○	○	可決
条例改正案	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可決
その他議案	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可決
請願	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	採択
議員提出議案等	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可決
	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可決

○: 議案等に対して賛成 ×: 議案等に対して反対 □: 議案等の採決の際に一部議員反対

新委員の紹介

平成 26 年 10 月 8 日現在
(◎委員長 ○副委員長)

総務財政委員会
 所管 危機管理室
 ◎菅原健
 ○加藤けんいち
 復興事業局
 まちづくり政策局
 総務局
 財務局
 消防局ほか

市民教育委員会
 所管 市民局
 ◎相沢美和
 ○やしろ
 教育委員会

健康福祉委員会
 所管 健康福祉局
 ◎小野寺健
 ○小田島久美子
 子供未来局
 市立病院

経済環境委員会
 所管 環境局
 ◎小野寺利裕
 ○ひぐちのりこ
 農業委員会
 経済局
 ガス局

都市整備建設委員会
 所管 都市整備局
 ◎跡部崇良
 ○菊地新治郎
 建設局
 水道局
 交通局

議会運営委員会
 所管 議会運営に関する事項
 ◎鈴木繁雄
 ○岡本あき子
 相沢和紀
 小野利裕
 鎌田行

広報委員会
 所管 議会広報に関する事項
 ◎石川建治
 ○すげの直子
 やしろ美香
 渡辺敬信
 跡部真由美
 佐々木薫
 庄司あかり
 ひぐちのりこ

意見書

第6号 鳥獣の捕獲促進体制強化の速やかな実施を求める件
 第7号 中小企業の事業環境の改善を求める件
 第8号 ガソリン価格の高騰に
 対し適切な対応を求める件
 第9号 「手話言語法(仮称)」
 の制定を求める件
 第10号 指定廃棄物の最終処分
 場建設地選定に関する件

請願

《採択となった請願》
 第1号請願
 「手話言語法制定を求める意見書」の提出を求める件
 請願者 (一社) 宮城県聴覚障害者協会仙台支部(仙台市聴覚障害者協会) 会長 松本 克之

編集後記

議会では、市民の皆さまに身近で大切なたくさんの議案が話し合われています。
 この市議会だよりは、年に4回開催される議会の内容について、少しでも市民の皆さまに知っていただきたいの思いから、編集し、各家庭等にお配りさせていただいているものです。
 市政や議会に関心を持っていただけるよう、分かりやすい紙面づくりを目指すとともに、市議会ホームページや議会議中継などさまざまな議会広報を充実させながら、今後も議会の広報力アップに努めてまいります。
 市民の皆さまのご意見等をお待ちしております。

平成 26 年第 4 回定例会は、12 月 1 日 (月) に開会の予定です。